

平成30年7月23日

三好市議会議長 殿

代表議員名 中 耕 司 

平成30年度政務活動費収支報告について

三好市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第2項に基づき、
別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

平成30年度政務活動費収支報告書

代表議員名 中 耕 司



1 収 入 (単位：円)

議員名	金 額
西内 浩真	84,079
立川 一広	84,079
中 耕司	84,085
吉田 和男	84,079
多田 敬	84,079
古井 孝司	84,079
大柿 兼司	84,079
田村 俊哉	84,079

政務活動費計 588,559 円

2 支 出 (単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費	588,559	平成30年7月2日～4日 宮城県女川町
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
会議費		
要請・陳情活動費		

平成30年7月23日

三好市議会議長 様

代表議員名 中 耕 司
議 員 名



調査研究報告書

次のとおり、調査研究を実施しましたので報告いたします。

期 間	平成30年7月2日から平成30年7月4日まで
出張先	宮城県女川町
出張者氏名	中 耕司、西内 浩真、吉田 和男、多田 敬、 大柿 兼司、古井 孝司、田村 俊哉
調査研究 項目・概要	宮城県女川町「震災復興・今の現状について」

(経費内訳)

項 目	金 額	備 考
旅 費	561,060円	1人約80,151円×7人分 (別途旅費計算書による)
交通費等	25,555円	燃料代 3,285円 高速代 1,840円 駐車場代 2,400円 自動車借上料 18,030円
土産代	1,944円	
合 計	588,559円	

※ 領収書を添付すること。

所感・意見等

様式第5号（申し合わせ第5条関係）

旅費計算書

出張期間	平成30年7月2日～平成30年7月4日
出張先	宮城県女川町
出張者氏名	中 耕 司、西内浩真、吉田和男、 多田 敬、大柿兼司、古井孝司、 田村俊哉

（内 訳）

区 分		自	至	道程(km)	金額(円)	備 考
鉄 道 賃	運 賃	東京駅	仙台駅	351.8	41,580	
	急行料金					
	座席指定料金	東京駅	仙台駅		38,220	
船 賃						
航 空 賃		高松空港	羽田空港		481,260	宿泊費を 含む往復 航空賃
車 賃	高速バス					
	タクシー					
	私用車					
	レンタカー				18,030	
宿 泊 料		夜分	四国外1人あたり上限13,100円 四国内1人あたり上限11,800円			円
合 計					579,090円	

※交通費等(燃料代、高速道路使用料、駐車場使用料、自動車借上料)については、別途報告すること。

領 収 証

No. 255038 J

RECEIPT

平成 20 年 7 月 20 日

ご氏名

三好千代子 御座様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金 額

¥ 579,090 -

ただし

7/24 宮城方面バス
7/26 仙台駅前バス

上記金額正に領収いたしました。

- 1. 現 金
- 2. 小 切 手
- 3. 振 込
- 4. クレジット() (カード)
- 5. その他()



株式会社 日本旅行

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

営業本部
支店

抜者名

責任者印

領 収 証

No. _____

ENEOS

三好市議会 様

30年 7月 / 日

納品書(領収書)

2018年07月03日 16:44

★ ¥1944-

但 菓子詰合せ

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

徳島県三好市池田町
あまげん池田店
竹垣保
TEL: _____

ご利用ありがとうございます。

宮城県道路公社

料金所では一旦停車してください。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 鳴瀬奥松島本線
鳴瀬奥松島本線
TEL: _____

18年 7月 3日 9時32分
車種 普通

通行料金 ¥760-
(現金)

一入口料金所一 多賀城
ETCなら小銭不要。各種割引もあります。
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。
取扱番号212-00570918-00

高松空港駐車場 ①

TEL 0120-70-8924

領 収 書

精算機: #01 A 精算No.000728
発券機 #05 発券No.090384
入庫時刻 2018年 7月 2日(月) 09:12
出庫時刻 2018年 7月 4日(水) 15:43
駐車時間 2日 6:31
駐車料金 A料金 2,400円

合 計 2,400円
現金領収額 2,400円
お預り 11,400円
お釣り 9,000円

またのご利用をお待ちしております。

領 収 書

料金所 仙台東
NEXCO東日本お客さまセンター
または

18年 7月 3日 15時26分

車種 普通

通行料金 ¥1,080-
(現金)

一入口料金所一 鳴瀬奥松島本線
ETCなら小銭不要。各種割引もあります。
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号203-04411446-00

売上
Tカード会員 様
G-220247-49997-000
現金会員
車両番号 実車番
0026-00
レギュラー P-16
21.90L(個) *
0150 ¥3,285
(内カソリン税 253.80 ¥1,178)
合計 ¥3,285
(内消費税等(8.00%) ¥243)
お預り ¥10,000
お釣り ¥6,715
Tカード"会員コード": 0000691700303281
ポイント:基本P 15P
特別P 0P
今回計 15P
利用ポイント 0P
利用可能ポイント 187P
本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。
現金でお買い上げの場合は領収書に、
かえさせていただきます。

カメイ株式会社
カメイ(株) DD県庁前店
宮城県 仙台市
TEL: _____ SS-220247
シートNo 5202-06 ティーNo4523-4523
0007SS共通 2018/07/03

お釣引換券

2018年07月03日 16:44

預り金額 10,000円
釣り銭金額 6,715円

受付No 5202



本日限り有効

日程表

三好市議会 様

平成30年6月6日作成

国土庁長官官舎隣接旅行業第2号
株式会社 日本旅行 徳島支店
 〒770-0831 徳島市寺島本町西1-10
 総合旅行業務取扱管理者 [redacted]
 担当 [redacted]

期日:平成30年 7月2日(月)出発 7月4日(水)帰着		2泊3日(旅館2泊・機中泊)		合計	6名様
大人		その他		合計	6名様
男子	女子	男性	女性	合計	6

日次	月/日	行程	宿泊予定施設
1	7/2 (月)	高松空港 9:50 発 ANA534 便 羽田空港 11:10 着 モルトル 浜松町 12:44 発 東京駅 12:44 発 はやぶさ55号 仙台駅 14:17 着	ドゥーミーイン仙台 EXPRESS 仙台広瀬道 TEL 022-715-7077 客室:6名様6室
2	7/3 (火)	レンタカー 仙台(ホテル) 10:30 宮城県 女川町視察 12:00 仙台(泊)	同上
3	7/4 (水)	はやぶさ108号 仙台駅 10:21 発 東京駅 11:56 着 モルトル 浜松町 12:30 発 羽田空港 14:05 発 ANA997 便 高松空港 15:20 着	

この計画書は、平成30年6月6日現在のスケジュールです。運輸機関ダイヤ改正、各地の道路状況により、多少行程・時間・時刻が変更になる場合があります。
 記入例: JR 飛行機 バス 船舶 ロープウェイ 徒歩

行政視察 参加者名簿

会 派 名	氏 名	役 職
清風政友会 (2名)	<small>なか</small> 中 <small>こう</small> <small>じ</small> 耕 司	会 長 総務企画常任委員長
	<small>にし</small> <small>うち</small> <small>ひろ</small> <small>ま</small> 西 内 浩 真	副議長
新 生 会 (3名)	<small>よし</small> <small>だ</small> <small>かず</small> <small>お</small> 吉 田 和 男	会 長 監査委員
	<small>た</small> <small>だ</small> <small>たかし</small> 多 田 敬	
	<small>おお</small> <small>がき</small> <small>けん</small> <small>じ</small> 大 柿 兼 司	
公 明 党 (1名)	<small>ふる</small> <small>い</small> <small>たか</small> <small>し</small> 古 井 孝 司	会 長 産業建設常任委員長
無 所 属 (1名)	<small>た</small> <small>むら</small> <small>とし</small> <small>や</small> 田 村 俊 哉	

平成30年 7月11日

三好市議会議長 立川 一広 様

〔代表者〕 中 耕司 

調査研究報告書

下記のとおり、視察調査研究を行いましたので、その概要を報告いたします。

- 1 期 間 平成30年7月2日（月）～4日（水）
- 2 参加者 中 耕司、西内 浩真（清風政友会）・古井 孝司（公明党）
吉田 和男、多田 敬、大柿兼司（新生会）・田村俊哉（無所属）以上7名
- 3 視察先及び調査項目
(1) 宮城県女川町 7月3日（火）10:30～14:00
宮城県女川町 復興推進課
「復興支援について」
- 4 調査概要

女川町（おながわちょう）は、宮城県の東、牡鹿半島基部に位置し、東日本大震災により被災した三陸地域に創設された「三陸復興国立公園」地域に指定されている。日本有数の漁港である女川漁港があるほか、女川原子力発電所が立地することでも知られている。近年では、新鮮な魚介類を活用した観光産業を中心に、多くの観光客が足を運んでいたが、平成23年3月11日発生の東日本大震災により、町中心部は壊滅的な被害を受けた。これまで以上の水産都市の実現へ向け、『女川町』は総力戦で1日も早い復興を全ての町民（町役場職員含む）が一丸となって取り組んでいる。

1、被害の概要

被災時人口10,014人 犠牲者（不明者含む）827人 犠牲率8.3%
震災時建造物数6,511棟 全壊・流出4,316棟 その他被害1,241棟
被災率85.4%
東日本大震災における被災率最大の自治体

2、町の人口

昭和40年19,388人より徐々に減少し、平成22年（震災前年）10,059人にまで減少。平成以降は毎年200人前後の減少であったが、東日本大震災による被災後約7年で約3,400人減。震災後流出が増加し平成30年5月現在6,563人であり、人口減少率は全国1,741市区町村中、最も高い。

3、復興まちづくり

基本的な考え方

- 中心部地区の都市構造と人の流れのイメージ
- 将来も含めての人口減少を見据えた都市構想
- 海側からなる三段構造となる断面地形創設
 - 1 メモリアル公園・漁港施設 標高1.9メートル
 - 2 市街地（商業地・津波避難ビル等） 標高5.4メートル
 - 3 居住地 標高10.5メートル
- ひな壇構造にすることで、海への視界を確保
- 減災と海の町の意識を両立

4、住まいの復興状況

○宅地・住宅の供給

防災集団移転促進事業宅地・災害公営住宅引き渡し率 98.9%

防集宅地引き渡し率96.3% (340戸/353戸)

災害公営住宅引き渡し率100% (859戸/859戸)

換地引き渡し率96.6% (421戸/436戸)

○応急仮設住宅

入居率7.8% (100戸/1,285戸 144人)

その他民間アパートへの仮り住まい99世帯

- ・宅地供給は概ね完了
- ・災害公営住宅は全て完成
- ・応急仮設住宅は本年度に集約化し、順次解体予定

5、商工業の復興状況

	平成21年(震災前)	24年(震災直後)	28年
町内事業所数	659	191	356
町内従業員数	5,737人	2,637人	3,773人

- ・東日本大震災後、町内商工業者の1/3が廃業
- ・仮設商店街は29年9月末に一部店舗を移設し、継続中(11店舗)
- ・先行した駅前商業エリアは、現在60店舗が開業
- ・医療センター北商業エリア、鷺神浜商業エリアには、今後15店舗が出店予定
- ・観光客数も年々増加しているが、震災前の6割程度

6、水産業の復興状況

○市場水揚高・地元漁港生産高

	平成22年(震災前)	23年(震災直後)	29年
卸売市場			
水揚数量(トン)	63,414	19,740	35,619
水揚金額(百万円)	8,159	1,681	8,056

地元漁港

生産数量(トン)	17,865	1,538	18,522
生産金額(百万円)	4,519	382	6,163

- ・水揚金額・生産金額は、震災前の水準まで回復。一方、水揚数量は減少。地元漁業組合員数も減少

○水産加工業

水産業関連業種の集約化を図りながら、漁港背後地を活用した水産加工団地エリアを順次整備中

加工品生産目標額	329億円
実績	23年 53億円
	24年 49億円
	25年 56億円
	26年 88億円
	27年 103億円

7、行政と住民とよそ者の連携

○民のチカラ

女川町復興連絡協議会を設立

これまで女川町を支えてきた年配者の方々が次世代の若者にまちづくりを依頼
自分たちは協力するという精神

- ・「行政に頼るな」
- ・「還暦以上は口を出さない。未来がある若手がまちを作れ」

○まちづくりワーキンググループ（WG）とデザイン会議

- ・誰でも自由参加できるデザイン会議
 - ・町民の100人に1人が直接まちづくりに参画できる場
- WGの議論とアイデアを、専門家も交えたデザイン会議で具現化

○よそ者・若者・ばか者

女川の復興まちづくりを舞台に、住む人も、外から来た人も、皆で新しいスタートとチャレンジする

(所感)

担当課長他2名の説明や体験談を受け様々な助言をいただいたことが一番印象に残った。

1、自家発電装置は上層階に設置せよ。

津波ではないが、我が三好市も早明浦ダム決壊が起きれば水害が予想される。

2、電気、水、電話の臨時中継局の設置を最速に。

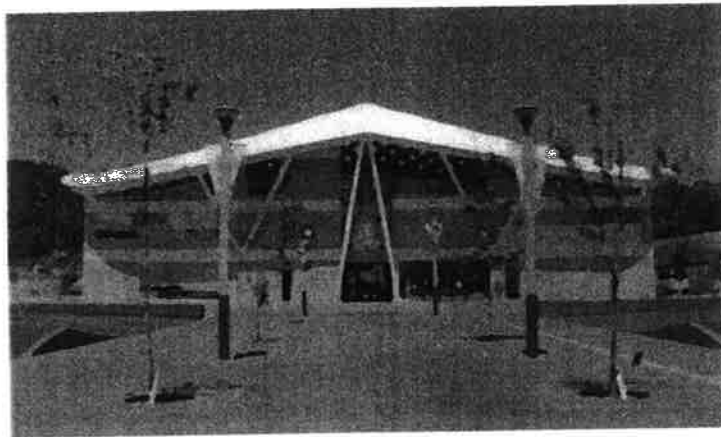
電気、水、電話があれば被災者の安心に直接繋がる。

その他色々な体験談を交えた話を聞き、減災の重要性、被災後の迅速な行政の対応等いろんな角度からの復興や支援を改めて考える時間となった。また、行政が土地を整備しても、被災者が住宅を建てる余力がないという、行政が感じ取れない市民の現状もあるのが事実である。

宮城県は震災直後より県職員複数名を女川町に出向させ、今現在県とのパイプ役や、町・県・国との連携支援行政を進めていることに感銘した。さて三好市が被災するようなことがあれば、今の執行部は県・国との連携パイプがあるのか。

震災においては想定外というのは当たり前のように起きる。日頃の減災対策、避難誘導対策等三好市も鍛錬していると思うが、市民と共に対策を考え、訓練し、市民と同じ目線での防災対策を講じる必要があると強く感じた。我々議会も一つとなり、行政や市民に対し、今何ができるかもう一度考え、行動にうつす時期だと考える。

御説明資料



平成30年7月3日(火)



東日本大震災における被害



▲被災後の中心部地区（女川・大原地区、平成23年3月15日撮影）



▲被災後の中心部地区（鷺神浜地区）



▲被災後の漁業集落地区（塚浜地区）

《 女川町の被害状況 》

震災時人口	犠牲者・不明者数	犠牲率
10,014人	827人	8.3%
震災時 建造物数	全壊・流出	その他被害
6,511棟	4,316棟	1,241棟
		被災率
		85.4%



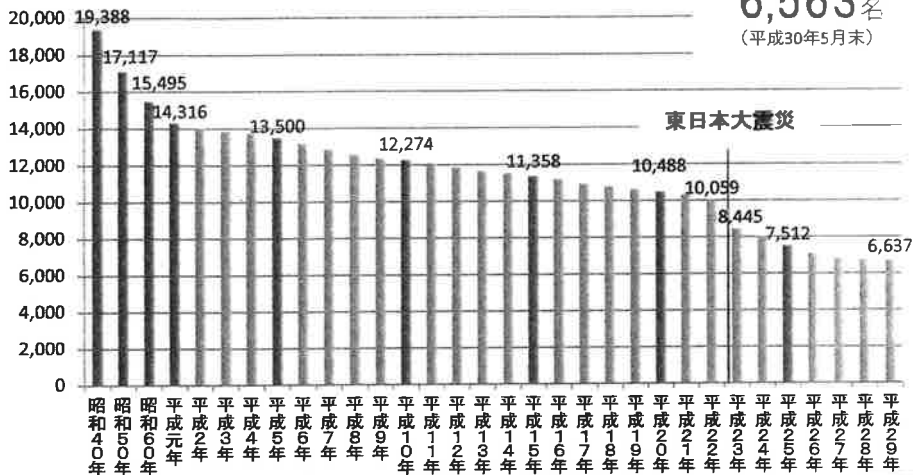
Point

東日本大震災における
被災率最大の自治体が女川町

町の人口推移 (各年末)

現在の人口

6,563名
(平成30年5月末)



平成以降は毎年200名前後の減少であったが、東日本大震災による被災後約7年で約3,400人減。
→ 震災時の人口の約34%減



Point
女川町の人口減少率が
全国1,741市区町村中、最も高い

※平成27年国勢調査結果。原子力災害避難指示区域等を除く。



女川町中心部

- ㊦平成18年6月
- ㊧平成29年12月



2

復興まちづくりにおける基本的な考え方

● 中心部地区の都市構造と人の流れのイメージ

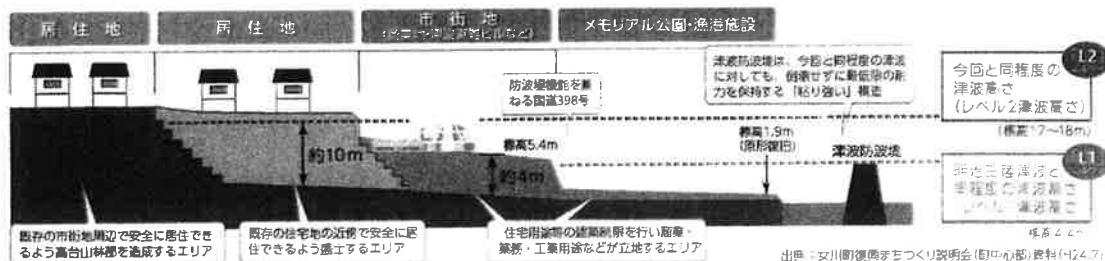
町のへそに都市機能を配置し、拠点化。
人の流れを意識的にへそへ集約し、
人口減少でも活力を維持・創出。

Point

将来も含めての
人口減少を見据えた都市構造



● 海側から三段構造となる断面地形



ひな壇構造にすることで、海への視界を確保。
減災と海の町の意識を両立。

●宅地・住宅の供給



▲災害公営住宅（女川住宅 平成29年7月完成）



▲防災宅地・災害公営住宅
(宮ヶ崎地区 平成29年10月全面供用)

防災集団移転促進事業宅地
・災害公営住宅引渡し率

平成30年5月末

98.9%

※ 防集宅地引渡し率 96.3% (340戸/353戸)
災害公営住宅引渡し率 100% (859戸/859戸)
換地引渡し率 96.6% (421戸/436戸)

●応急仮設住宅



▲3階建ての野球場仮設住宅

入居率

平成30年5月末

7.8%

(100戸/1,285戸、144人)

※世帯換算 4.3%
※分母の戸数は当初建設戸数。

この他に民間アパート等への仮住まいが町内外計 99世帯
(平成30年3月末)



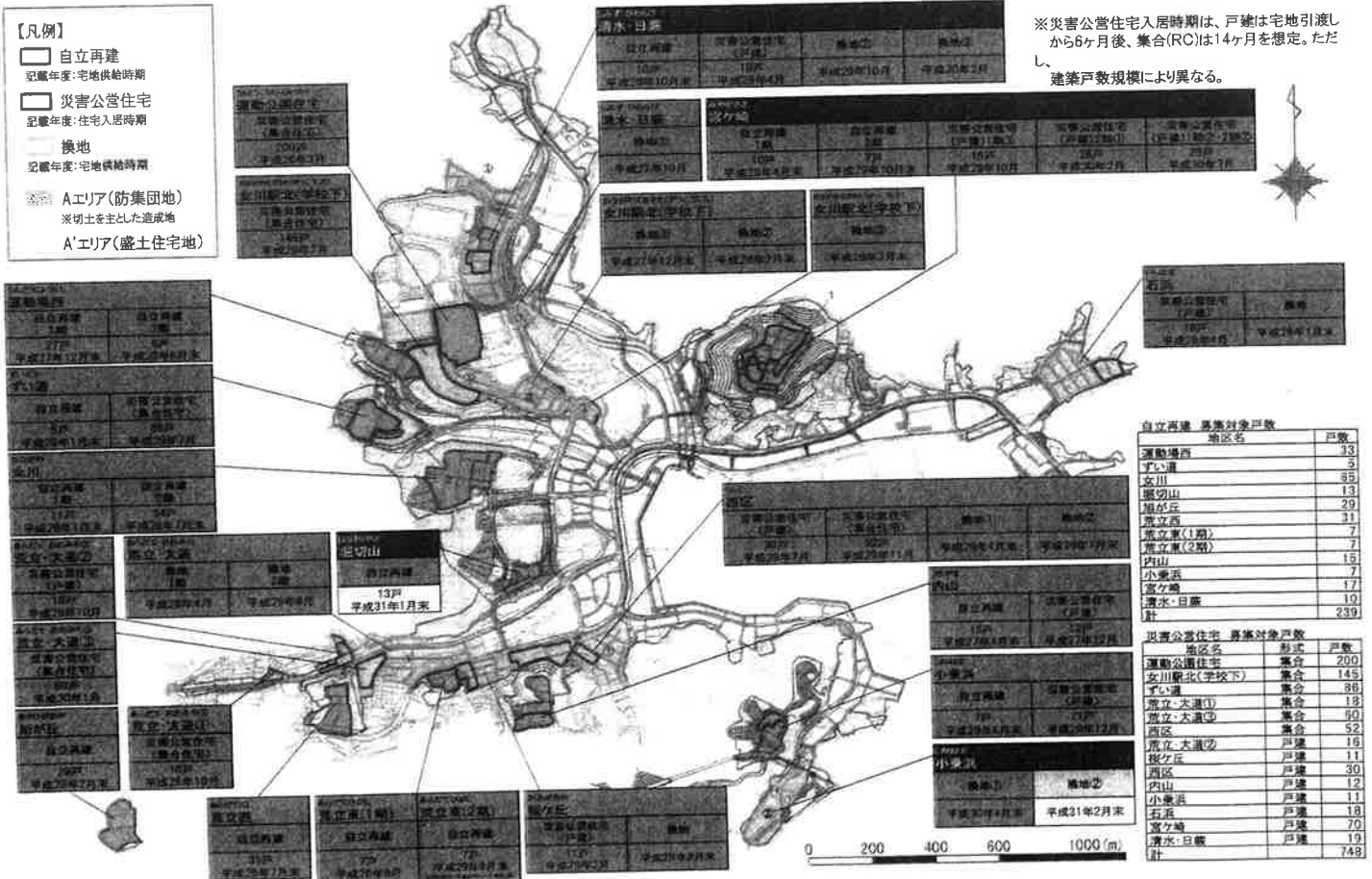
▲女川駅周辺の住宅
(左から、防集宅地(女川南区)、災害公営住宅(女川住宅、大原住宅、運動公園住宅)

- ▶宅地供給は、概ね完了。
(現在造成中の堀切山・小乗浜(換地)は、平成31年1・2月に供給予定)
- ▶災害公営住宅は、全て完成(平成30年3月末)。
- ▶応急仮設住宅は、本年度に集約化し、順次解体予定。

女川町中心部 住宅供給計画図

平成30年5月末時点

※災害公営住宅入居時期は、戸建は宅地引渡しから6ヶ月後、集合(RC)は14ヶ月を想定。ただし、建築戸数規模により異なる。

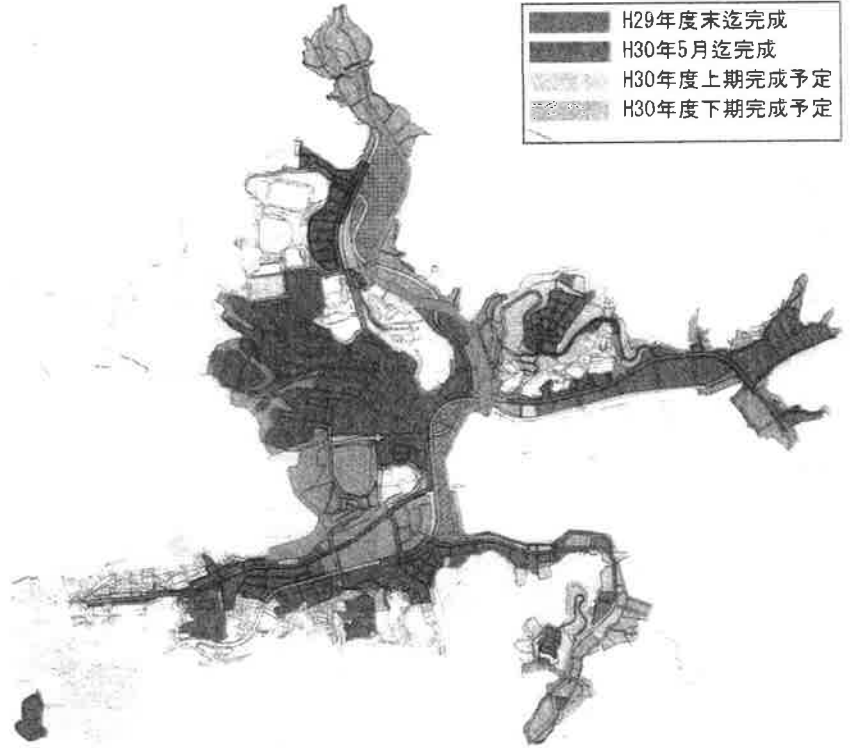


● 土地引渡しの実績・進捗率 (ha,%)

町全体	H29年度末(実績)	累計進捗率	H30年度(計画)	累計進捗率	H30年5月末	累計進捗率	総計
宅地	57.7	73%	21.1	100%	2.1	76%	79
公共用地	69.9	41%	100.0	100%	4.9	44%	170
合計	127.6	51%	121.1	100%	7.0	54%	249

※女川町被災市街地復興土地区画整理事業(中心部地区 約198ha)
 総画地数：約2,000筆(接生前:約4,300筆)(保留地・公共用地含む)
 権利者：約1,200人(うち死亡者約600人(その相続人約7,500人))

● 中心部土地造成計画図



▶ 土地造成は、平成31年3月末までに概ね完成の予定。

▶ 平成30年3月末の累計引渡し面積は、全体計画249haのうち約128ha(約51%)。

▶ 平成30年度に完成する主な造成地は、鷲神浜商業エリア、水産加工エリア(残)、堀切山、観光交流エリア、清水公園、離半島水産関係用地など。

中心部の復興状況



【女川町庁舎】

被災した役場庁舎、生涯学習センター、保健センター及び子育て支援センターを集約し整備。

※平成30年10月より供用開始予定



【観光交流エリア】 (メモリアル公園)

被災した施設(旧女川交番)を震災遺構として保存し、震災の記録を承継するとともに、駅前商業エリアと一体となってにぎわいを生み出していく、港町・女川の復興のシンボル空間として整備。

※平成32年7月完成予定



【小中一貫校】

新たな町のコミュニティ形成を確実にするため、町の核となる小・中学校を、町中心部に移転し整備。

※平成32年度第2学期より供用開始予定

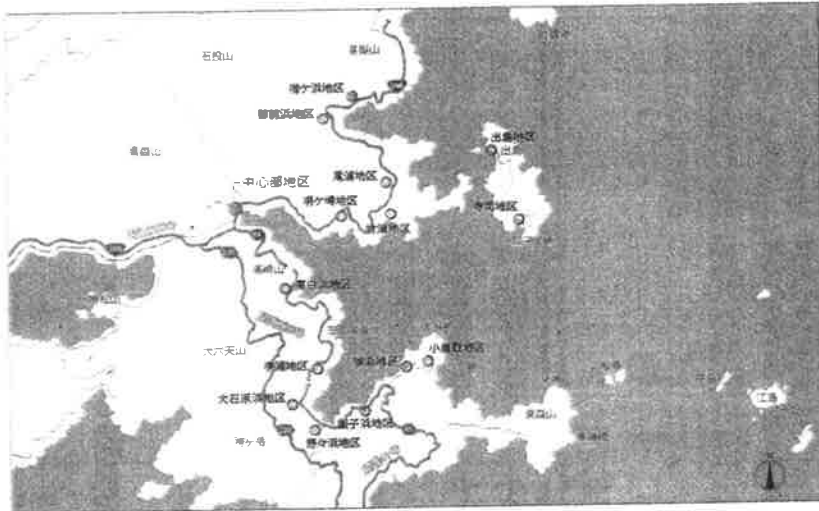


【清水公園】

女川沿いの防災集団移転元地である清水・新田地区において、グラウンド・親水公園等を整備。

※平成32年度完成予定





▲尾浦地区
手前の浜では、漁業事業で水産関係用地等を整備中。奥の高台は、防災集団移転促進事業宅地（尾浦地区）。



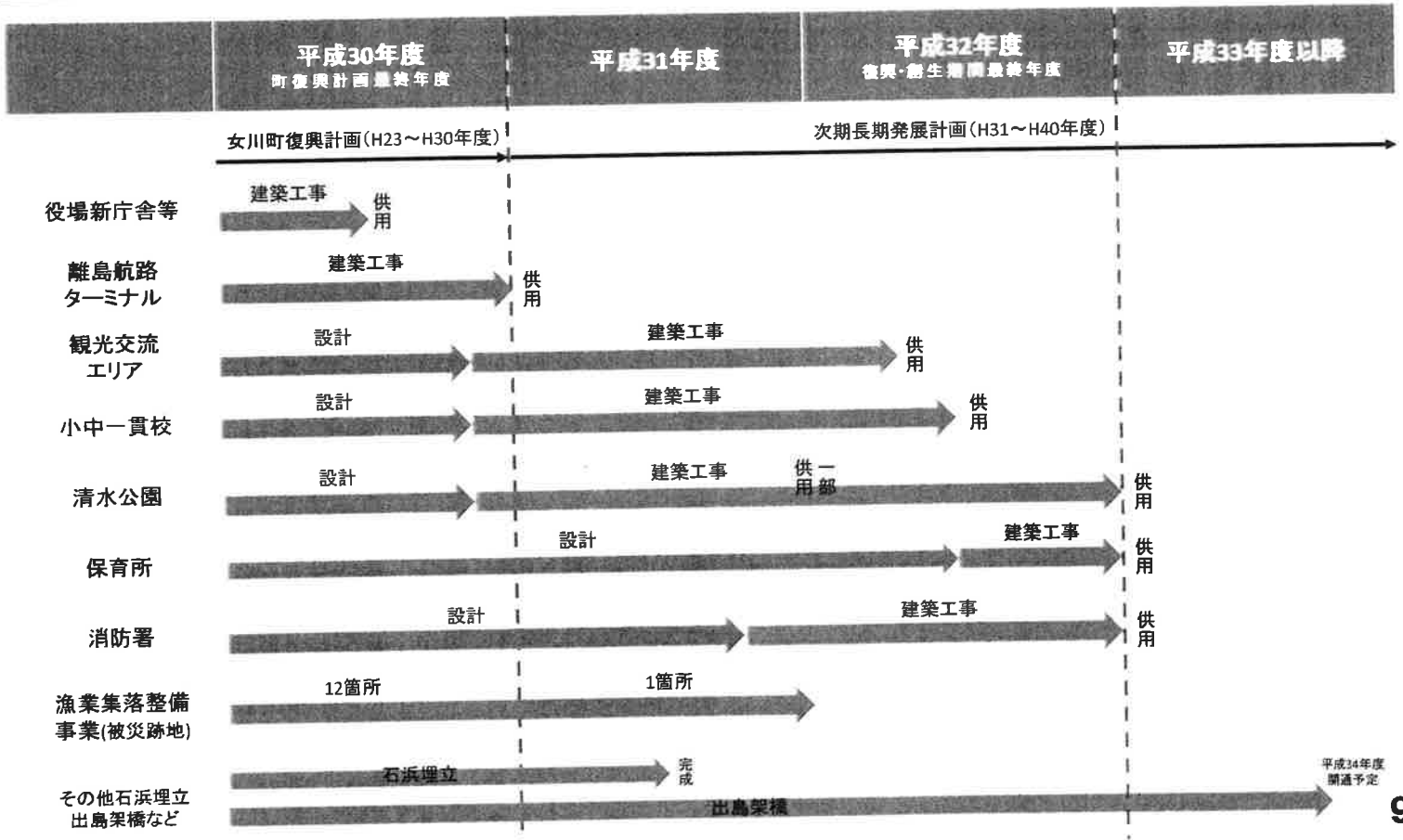
▲竹浦地区
青線区画は、漁業事業エリア。赤線区画は、利用見込みのない移転元地（点在している）。



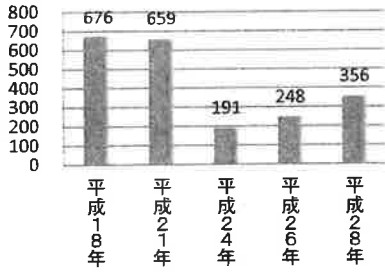
▲御前浜地区
青線区画は、漁業事業エリア。赤線区画は、利用見込みのない移転元地（まとまっている）。

離半島の防災集団移転促進事業宅地・災害公営住宅は、全て引渡し済み（平成29年11月末）。
移転元地の一部を利用して、漁業集落防災機能強化事業（漁業事業）により水産関係用地等を整備中（全14地区）（平成31年3月末までに概ね完了予定）。
その他の利活用の見込みのない移転元地（町有地）は、町内合計で約13haにのぼる。

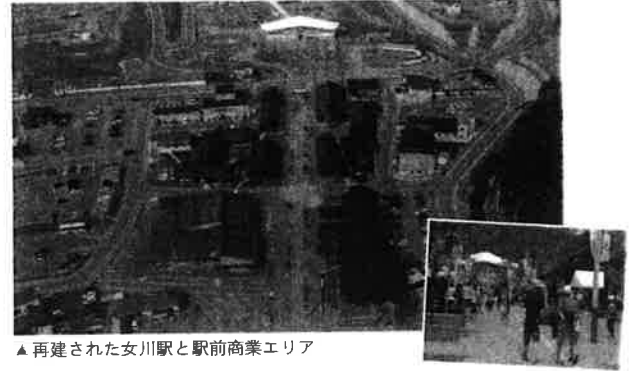
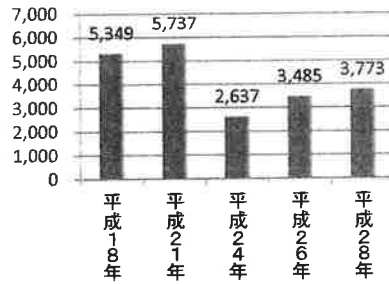
主な復興事業等の今後のスケジュール



● 町内事業所数

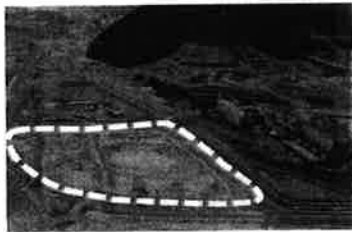


● 町内従業者数



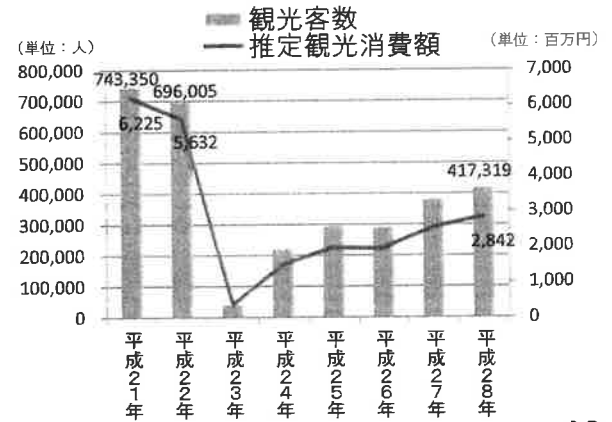
▲ 再建された女川駅と駅前商業エリア

- ▶ 東日本大震災後、町内商工業者の1/3が廃業。
- ▶ 仮設商店街(きぼうのかね商店街:最大時52店舗)は、29年9月末に一部店舗を移設し、継続中(11店舗)。
- ▶ 先行した駅前商業エリアでは、現在60店舗が開業。
- ▶ 医療センター北商業エリア(造成済)・鷺神浜商業エリア(造成中)には、今後15店舗が出店予定。
- ▶ 観光客数も年々増加しているが、震災前の6割程度。



◀ 造成中の鷺神浜商業エリア(30年11月引渡し予定)

▶ レンガみちで初日の出を迎える人々



水産業の復興状況

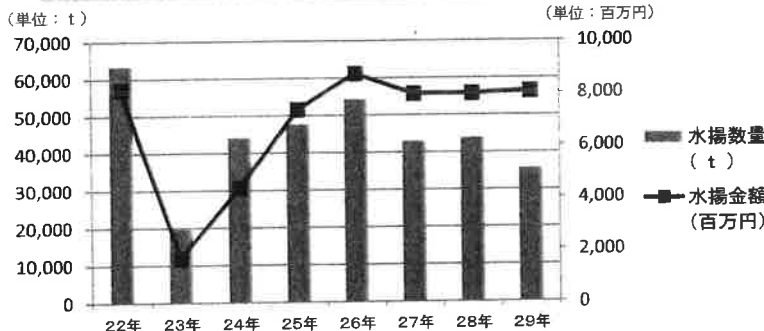
● 市場水揚高・沿岸漁業(地元漁協)生産高

水揚金額・生産金額は、震災前の水準まで回復。一方、水揚数量は減少。地元漁協組合員数も減少。(673人(H22)⇒358人(H29))



【女川町地方卸売市場の復旧】

- H27年6月 東荷捌場完成
- H28年6月・8月 管理棟・中央棟荷捌場完成
- H29年4月 西棟荷捌場完成
- H29年5月 地方卸売市場全面供用



		22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
卸売市場	水揚数量 (t)	63,414	19,740	44,145	47,639	54,354	42,942	43,848	35,619
	水揚金額 (百万円)	8,159	1,681	4,383	7,372	8,747	7,966	7,973	8,056
地元漁協	生産数量 (t)	17,865	1,538	9,372	14,937	18,569	18,963	17,550	18,522
	生産金額 (百万円)	4,519	382	2,035	3,810	5,632	5,329	5,845	6,163

● 水産加工業

水産業関連業種の集約化を図りながら、漁港背後地を活用した水産加工団地エリアを順次整備中。

◀ 用地供給済み ▶

石浜・宮ヶ崎地区 10 事業所 (45,317㎡) (H26-28 操業開始)

◀ 用地造成中・今後公募予定 ▶

石浜・宮ヶ崎(西)・伊勢・角浜・小栗地区 15 区画 (51,940㎡) (H29.8-H31.2 引渡予定)



▲ 再建が進んだ水産加工団地 (左から伊勢地区・地方卸売市場・宮ヶ崎地区・石浜地区)

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
加工品生産額	53億円	49億円	56億円	88億円	103億円		

●民のチカラ

女川町復興連絡協議会

「行政に頼るな」
「選層以上は口は出さない。
未来がある若手がまちを作れ」

産業界と世代を横断した組織。
このメッセージが後のまちづくりにとって、
大きな土台となる



▲復興連絡協議会設立総会時（平成23年4月19日）

●まちづくりワーキンググループ(WG)とデザイン会議



町民の100人に1人が
直接まちづくりに参画できる場

WGの議論とアイデアを、専門家も交えたデザイン会議で具体化

●よそ者・若者・ばか者

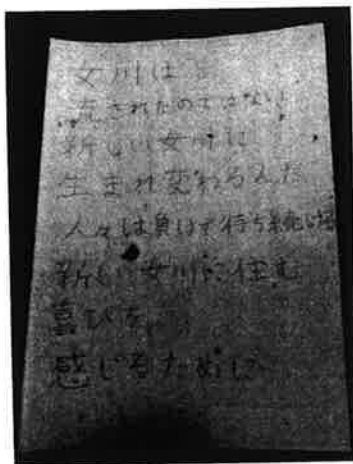


女川の復興まちづくりを舞台に、
住む人も、外から来た人も、
皆で新しいスタートとチャレンジ

町内若手事業者のみなさん

これからの世代

●震災2カ月後に書かれた小学生の詩



女川は流されたのではない
新しい女川に生まれ変わるんだ
人々は負けず待ち続ける
新しい女川に住む
喜びを感じるために

●「生きる」神田瑞季さん作（当時中学3年生）



中学3年生当時に描いた「生きる」（写真左）が、震災復興絵はがきにも採用された神田瑞季さん。

平成28年3月には、作画を手掛けた「なみだはあふれるままに」がPHP研究所から出版されました。震災で祖父を亡くした実体験を、一人の少女の心象風景として絵本作家・内田麟太郎さんが詩に託しています。



●いのちの石碑プロジェクト～千年後の命を守るために～（女川中学校）

震災の年に女川中学校へ入学した生徒たちが進める「いのちの石碑プロジェクト」。国際会議を含め、多方面で津波対策案を発表して募金活動を行い、防災プランを記した「いのちの石碑」を、自分たちが成人するまでに町内21カ所の浜へ建立しようと活動しています。

石碑裏面には、防災プランが英語・フランス語・中国語でも刻まれ、平成25年度の「ぼうさい甲子園」ではグランプリを受賞しました。そのほか、中学生向けの副読本「いのちの教科書」製作づくりにも取り組むなど、積極的な活動を展開しています。




▲女川中学校で1基目の石碑を設置した生徒たち（平成25年11月）

宮城県女川町



副町長 阿部 明彦

〒986-2261 宮城県杜鹿郡女川町女川浜字女川136
TEL 0225-54-3131
FAX 0225-53-5483
E-mail: aki.abe@town.onagawa.lg.jp

 ~とりもどそう 笑顔あふれる 女川町~
宮城県女川町 復興推進課

課長 菅原 真悦

SHINETSU SUGAWARA

〒986-2261
宮城県杜鹿郡女川町女川浜字大原316(仮設)
TEL0225-54-3131(内230)/FAX0225-53-5483
E-mail: fukko@town.onagawa.lg.jp



宮城県女川町 復興推進課

技術参事 立花 公一郎

〒986-2261
宮城県杜鹿郡女川町女川浜字大原 316(仮設庁舎)
TEL:0225-54-3131(内232) FAX:0225-53-5483
E-mail:toshikei9@town.onagawa.lg.jp
URL: http://www.town.onagawa.miyagi.jp/

宮城県女川町
復興推進課

課長補佐 田浦 嘉則

〒986-2261 杜鹿郡女川町女川浜字女川136
TEL 0225-54-3131
FAX 0225-53-5483
E-mail fukko2@town.onagawa.lg.jp